

将来像にかかる意見

資料－５９

将来像の修正にあたっての審議会意見

1. 全体会での意見

(1) 第3回（平成16年1月22日開催）

- ① メインタイトルは、ごった煮みたいである。もう少し伸びやかに、人とふれあうようなパンチの効いたものを書かねばならない。
- ② 上手に都市経営をして、緑豊かな環境や景観、自転車問題等の様々な対応を図るなど、攻めの姿勢をきちんと持った上で理想の将来像を書くべき。
- ③ 将来像に「万博公園とともに生きる」、「太陽の塔のまち」などの言葉を具体的に入れたい。
- ④ 21世紀を踏まえて吹田のあり様を表現し、人間の活力や人間のあり様を記述すべき。
- ⑤ 将来像の中に、すべての人々が輝くような、がんばるような考え方に基調を置くのがいい。
- ⑥ 千里ニュータウンは緑も多く道路も広く、まちづくりとして誇れるまちだと思う。それを見習い近づけるよう努力していけばよい。

(2) 第4回（平成16年6月30日開催）

- ① 「非核平和都市宣言」と「健康づくり都市宣言」について記述
- ② 「安心・安全」について記述
- ③ 「まちづくり」についての説明

2. 専門作業部会での意見

- ① 吹田のまちのイメージを共有する必要がある。その上で次のステップとして将来像に結びつけることが大切。
- ② 何が吹田のまちを形作るのかを考えた場合、「ひと」だと思う。人間を大事にする根本に文化があり、文化が人間の精神を豊かにし、生きる力を与えるものである。
- ③ 吹田21世紀ビジョンで吹田市の特徴として「万博の杜と学術研究機関のまち」、「日本の郊外都市の先駆的存在」、「新しい都市コミュニティづくり」、「まちづくりの新しい扉を開く」と4つ挙げられており、これを参考にしではどうか。
- ④ 施策の大綱で「まちづくり」としているが、これに繋がるように、「まちづくり」はめざすだけでなく、一緒につくるメッセージが込められており、ただ行政がするだけでなく、市民との協働を意味していることを記述してはどうか。

将来像にかかる市民意見

- ① わかりやすい表現にすべきであるが、「人と自然、都市と環境が共存・調和するまちすいた」は、どこにでもあり何を指すのかわからない。
- ② 非核平和都市宣言をしているし、スポーツの宣言(健康づくり都市宣言)を出している。「吹田はこれなんだ」というものが基本構想では必要。
- ③ 第2次総合計画では「まちをめざして」となっていたのが、第3次総合計画では「まちづくり」と変わっているが理由がわからない。